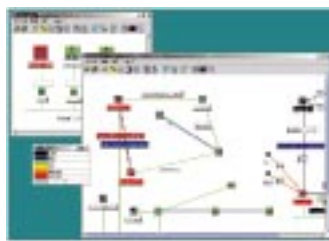


物理構成ベースでのネットワーク管理 Systemwalker Network Topology Manager

Systemwalker Network Topology Managerは、ネットワーク障害箇所の迅速な特定を可能にする管理ソフトウェアです。従来の論理構成(IPアドレス)ベースによる構成管理ではなく、物理構成ベースでの管理により、実際のネットワーク構成をそのまま画面に反映し、障害の発生箇所をピンポイントで特定します。さらに、VLAN管理、ホットスタンバイ構成管理、スパンニングツリーによる冗長構成の管理など従来の論理構成ベースの管理マネージャーでは困難だった管理が容易に行えます。

ネットワークのトラブル解決時間を大幅短縮

物理構成マップ上にネットワークの実際の接続構成や状態をビジュアルに表示し、トラブルが発生した機器と回線の状態を物理構成マップ上で管理します。さらに、物理構成ベースでの冗長構成ネットワークも回線単位で管理可能です。



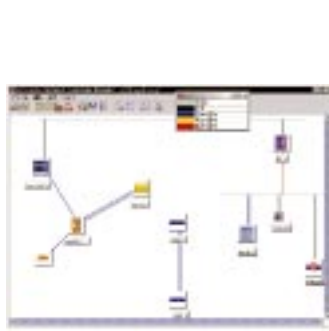
機器と回線の障害状態の表示



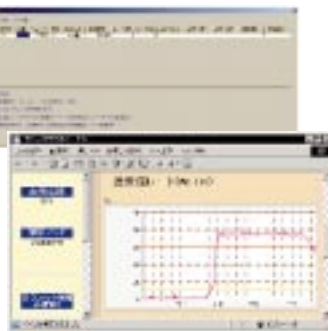
リンク切れ発生時は障害状態と不明状態を区別して表示

回線単位のボトルネック箇所の特定化

トラフィックマップ上の回線の色の变化でトラフィック量が一目でわかります。このため、ネットワーク上のボトルネックが容易に把握でき、トラブルを未然に防止できます。また、トラフィックマップで、機器/回線を指定することで、トラフィックの詳細情報を参照できます。



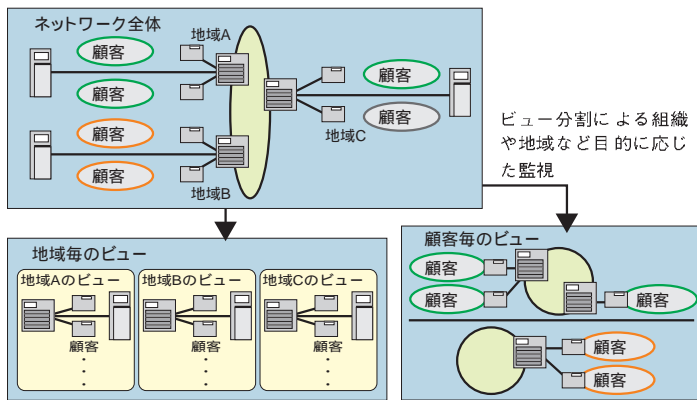
色の变化によるトラフィック量の表示



回線ごとのトラフィックのグラフ表示

ネットワークのトラブル影響範囲の特定化

地域、建物、部署、VLAN ごとなど自由に分割したセッションビューを作成し、セッションごとにそれぞれ自由にネットワーク図を作成、管理できます。ネットワーク上に障害が発生した場合、どのセッションに影響するかを自動的に判別、表示するため、障害の影響範囲の把握が容易にできます。



VLANの容易な設定・管理

ネットワークマップ上でVLAN経路となるリンクをマウスクリックするだけで、視覚的にVLAN設定が可能です。VLAN-IDごとにVLANの経路と構成機器がマップ上で一目瞭然に分かります。



太線でVLAN経路を表示



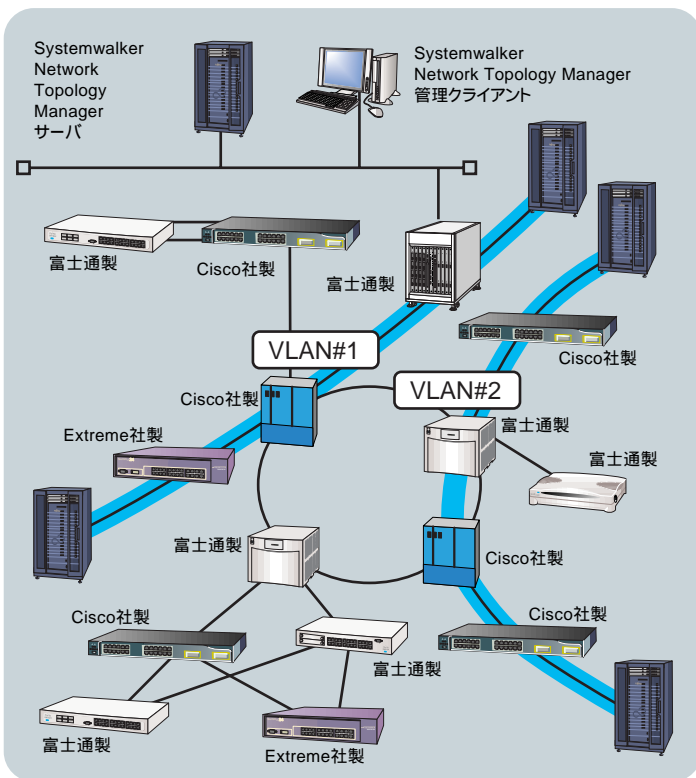
経路を指定するだけでVLAN設定が可能

マルチベンダー対応

富士通、Cisco、Extreme 製ネットワーク機器をベンダーの違いを意識することなく、統一された操作で管理できます。

*サポート機種については、Systemwalkerホームページをご参照ください。
<http://systemwalker.fujitsu.com/jp/net/ind ex.html>

システム構成



動作環境
 ・監視サーバ: Solaris™ 8 Operating Environment(32bit / 64bit)または Solaris™ 9 Operating Environment(32bit / 64bit)
 ・管理クライアント: Windows® 2000 ProfessionalまたはWindows XP Professional
 関連ソフトウェア
 ・Systemwalker Network Topology Manager VLANオプション
 ・Systemwalker Centric Manager

業務の安定稼働を効率よく実現する統合運用管理 Systemwalker Centric Manager

インターネットで製品情報がご覧になれます。 <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/>

インターネットビジネス時代に対応した統合運用管理ソフトウェアです。小規模のクライアント・サーバ環境から超大規模のビジネス環境まで一か所の管理サーバからシステムやネットワークを集中管理することで、運用コスト(TCO)の削減とシステム安定稼働を実現します。

業務のライフサイクルをトータルに管理

企業システムを適切に維持・管理する上で必要となるソリューションを提供します。デプロイメント、モニタリング、リカバリ、アセスメントといった企業システムを維持していくためのライフサイクルに従って、ビジネス環境を統合管理し一連の運用管理の操作をシームレスに行えます。また、監視は、監視対象のサーバや機器をツリー構造で管理し、分かりやすいアイコンで表現しているので大規模なシステムでも容易に監視/操作ができます。



デプロイメント[導入/設定]

サーバまたはクライアントで使用するアプリケーションやデータなどの資源を一元管理し、対象のサーバやクライアントにオンラインで配付することができます。

また、サーバ/クライアントの空きディスク容量や搭載メモリ量などのハードウェア情報や、すでにインストールされているソフトウェアの情報、インベントリ情報として収集し参照することができます。

モニタリング[監視]

ネットワークやシステム、アプリケーションの稼働状況、障害発生、性能状況をGUIを使用した画面で集中的に監視できます。イベントログ・SNMPトラップ・指定のログファイルなどに出力されたメッセージを運用管理サーバで集中管理します。

異常が発生した場合、重要度に応じて音声でも通知したり、夜間発生したトラブルはメールで担当者へ通知するなど、メッセージの内容や管理者の行動パターンに合わせて、通知方法を複数組み合わせることができます。

【ノード状態の表示/監視】

- 各ノードの稼働/停止などの状態を監視画面に色で表示
- 一定間隔ごとのポーリングにより監視
- 各ノードの状態変化(停止状態への遷移/起動状態への遷移)を集中監視
- IPv6に対応したノードも監視

【アプリケーションの稼働状態表示/監視】

- アプリケーション(常駐プロセス、Interstageの業務(EJB、CORBA、Servletなど)の稼働/停止状態を監視画面に色で表示
- 一定間隔ごとのポーリングにより監視
- 設定した稼働条件(ポリシー)どおりに稼働していない場合に管理者に通知

リカバリ[復旧]

リモートから診断したり、蓄積したノウハウを利用したオペレータ操作のナビゲート機能により、運用中にネットワークやシステムで発生するさまざまな障害の復旧作業を効率的に行うことができます。

あらかじめ対処コマンドを登録した自動対処、遠隔地のサーバへのコマンド発行による対処、さらには管理者のパソコンから遠隔地のパソコンへのリモートコントロールによる対処など、復旧時間の短縮化や効率化が図れます。

アセスメント[評価]

収集/蓄積された性能情報や障害発生情報を基に現状分析/評価が可能。システムやネットワーク、業務に対して無駄なリソースを減らし、効率的な設備投資、適切な増設/移設計画、潜在的な問題の早期発見などにフィードバックが可能です。

【ネットワークの評価】

サーバ、ネットワーク機器、RMONなどから収集/蓄積されたネットワーク性能のレポートを基に、ネットワークの分析/評価が可能です。



業務監視画面

「ノード中心マップ」による回線使用率の表示

見やすいWebビューによるネットワーク機器管理 Systemwalker Network Assist

Systemwalker Network Assistは、富士通製ネットワーク機器のトラブルを即座に検出し、装置ビューで装置やインタフェースの異常箇所を特定でき、きめ細かな監視レベルを設定できます。Systemwalker Network Assist単体での動作はもちろん、Systemwalker Centric Managerの管理マップ上のノードアイコンからSystemwalker Network Assistをダイレクトに呼び出し、ネットワークトラブルの一次切り分けから特定の機器にドリルダウンして障害の原因究明と対処が一貫した操作で行えます。

機能

●構成管理

全体状態表示画面で把握した装置を各種ビューによりビジュアルかつ詳細に表現して、インタフェース単位までの異常を視覚的にとらえることができます。



ノードビュー

●障害管理

装置の状態変化や装置トラップなどのアラームを時系列に管理します。また、異常箇所をわかりやすく特定できます。



VLAN情報ビュー

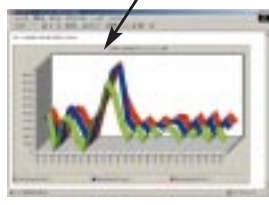
FDDIビュー

●統計管理

装置のインタフェース単位に統計情報を収集し、表示・出力することができます。これによりネットワークの状況を把握でき、キャパシティプランニングに役立ちます。



CSV出力



Systemwalker Centric Manager レポート機能

統計情報一覧

●高信頼、大規模環境への対応

●クラスシステム対応

高信頼、高性能なネットワーク環境に対応するため、クラスターサーバ上で動作することができます。

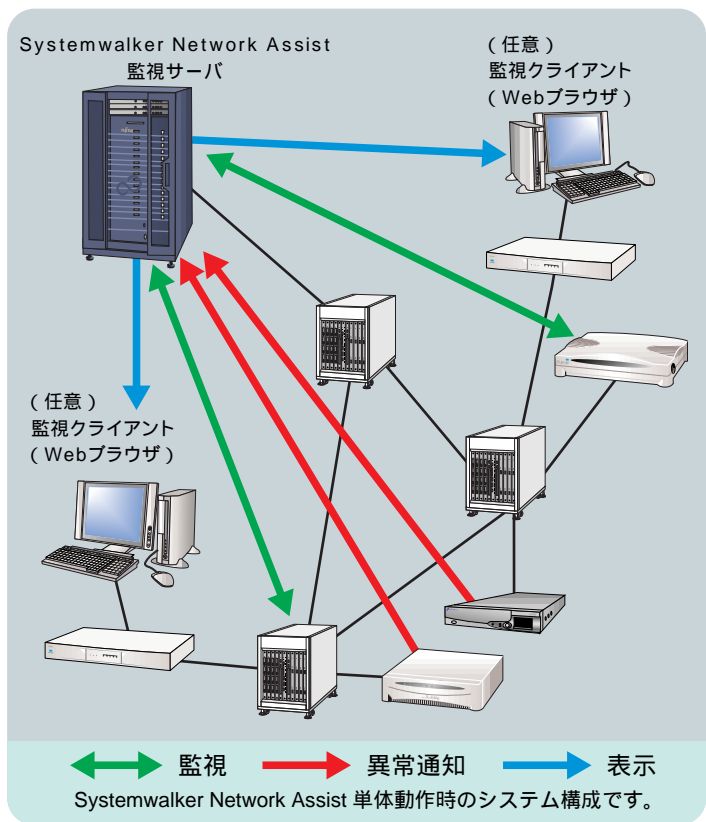
これにより、冗長構成や二重化運用などが可能です。(Systemwalker Network Assist EE/GEEのみ)

●グローバルサーバ対応

グローバルサーバ(GS/PRIMEFORCEシリーズ)のネットワークアダプタ監視機能をサポートします。

これにより、グローバルサーバを中心とした基幹業務のネットワーク機器の集中監視を実現します。(Systemwalker Network Assist GEEのみ)

システム構成



Systemwalker Network Assist 動作環境

Windows 版	
【OS】	
監視サーバ	Windows Server 2003, Standard Edition Windows® 2000 Server Service Pack 2 以降 Windows NT® Server 4.0 Service Pack 6a
監視クライアント	Windows® XP Professional Windows® 2000 Professional Windows NT® Workstation 4.0 Windows® 98/Me
【必須ソフトウェア】	
監視サーバ	Microsoft Internet Information Server 4.0/5.0/6.0
監視クライアント	Internet Explorer 5.5/6.0 以降または Netscape Navigator 6.x/7 Java Plug-In 1.3.1 以降
【関連ソフトウェア】	
監視サーバ	Systemwalker Centric MGR-M SE/EE V10.0L10/10.0 以降 Systemwalker Centric Manager Standard Edition V11.0L10/11.0 以降 Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition V11.0L10/11.0 以降

Solaris OE 版	
【OS】	
監視サーバ	Solaris 8™ Operating Environment Solaris 9™ Operating Environment
監視クライアント	Windows® XP Professional Windows® 2000 Professional Windows NT® Workstation 4.0 Windows® 98/Me
【必須ソフトウェア】	
監視サーバ	Webサーバ用として、以下のいずれかの製品が必要です。 iPlanet Web Server Enterprise Edition 6.0 Sun One Web Server Enterprise Edition 6.0 Apache 1.3.24/2.0.26
監視クライアント	Internet Explorer 5.5/6.0 以降または Netscape Navigator 6.x/7 Java Plug-In 1.3.1 以降
【関連ソフトウェア】	
監視サーバ	Systemwalker Centric MGR-M SE/EE/GEE 10.0 以降 Systemwalker Centric Manager Standard Edition 11.0 以降、または、 Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition 11.0 以降

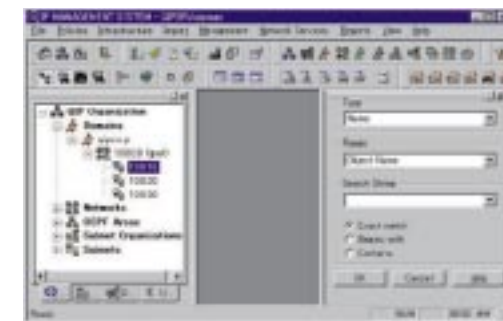
ネットワーク管理をよりきめ細かく支援するアプリケーション NetEyemanagerシリーズ

IPアドレス管理(NetEyemanager/QIP)

- 全社のIPアドレスをGUI上で一元管理
- RFC2136のダイナミックDNSに準拠したDNS-DHCP自動連携機能
- 階層的な管理定義機能により整然とした管理体系で管理工数を削減
- DHCPサーバの二重化機能により、サービスを保証

VoIP電話番号管理(NetEyemanager/VoIP)

- IPアドレスと電話番号を管理するGateKeeper機能を提供
- 大規模なVoIPネットワークでも電話番号の一元管理が可能。また、局番単位(ゾーン)の管理と局番間でのGateKeeper連携が可能
- 回線帯域/呼数の最大数にあわせて呼数を制御し一定の音声品質を保証(オプション)。さらにPolicy Server for LANと連携してネットワーク全体の音声帯域を制御することが可能

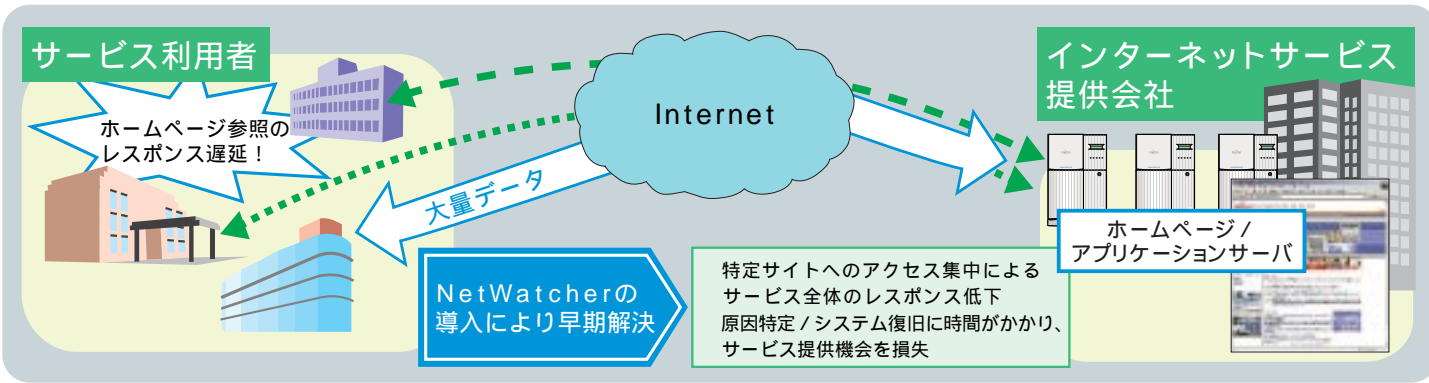


NetEyemanager/QIP

ネットワークパフォーマンスの計測・監視システム GeoStream NetWatcher

GeoStream NetWatcherは、ネットワークのパフォーマンスをリアルタイムに計測・監視するシステムです。ホームページごとの使用帯域幅、アクセス状況などをリアルタイムに通知する機能を追加し、ホームページのサービス監視機能を強化しました。レポート機能で、ホームページのサービス状況を一定期間のレポートとして出力させることが可能なため、ホームページごとの傾向を把握し、アクセス状況の分析に役立たせることができます。パッシブ・モニタリング方式*を採用しているため、ネットワークに負荷をかけることなく、既存ネットワークへの導入が可能です。

*パッシブ・モニタリング方式：ネットワークを通過するパケットを採取してトラフィックタイムを記録し、ネットワーク状況を分析する方法。装置からテストパケットを送受信してタイムを記録するアクティブ・モニタリング方式に比べ、ネットワークに負荷をかけることなく計測・分析を行うことが可能。



リアルタイムに、ホームページごとの参照状況を把握

ホームページごとの帯域幅、参照回数や転送バイト数などの情報から、ホームページの参照状況を監視し、大量データのダウンロードを行っているホームページの有無などをリアルタイムに把握し、状況に応じた対策を迅速に行えます。例えば、大量データをダウンロード中のホームページがあれば、制御装置で帯域幅を絞るなどの対策が可能です。

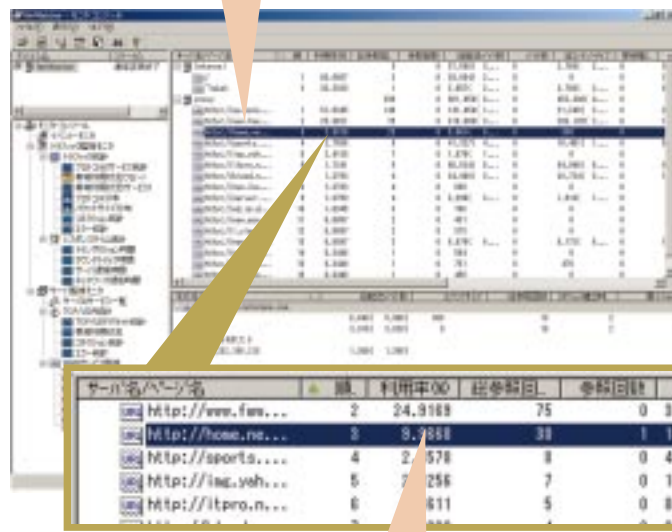
ホームページの許容応答時間の遵守率から、レスポンス遅延発生時の監視を自動化

ホームページごとに、サーバ応答時間のしきい値(目標値)と遵守率を二段階(危険、警告)に設定し、遵守率超過を監視し、超過時には、イベントモニターやE-mailなどで管理者に通知することが可能です。管理者は、ホームページ参照でのレスポンス遅延の発生警報を自動監視させることで、早期対策が行え、遅延発生時の抑制が可能です。

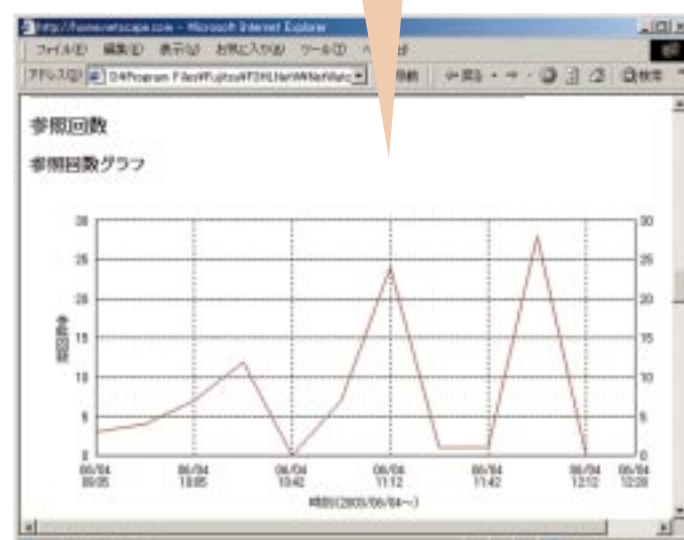
指定した期間の統計情報から時、日、週、月単位でのホームページ参照の状況を把握

ホームページごとに測定した統計情報は、一定間隔で専用データベースに保存され、期間を指定してレポート出力が行えますので、時単位、日単位、週単位、月単位でのホームページの参照状況を把握し、システムのネットワーク制御やキャパシティ・プランニングに活用し、最適なシステムの維持に役立たせることが可能です。

サーバ監視モニター ホームページ情報の表示画面



レポート機能 ホームページ参照回数のHTMLファイル出力例



利用率が多いホームページの順に表示(100位まで)
横軸には、順位、利用率、参照回数、転送バイト数、コンテンツサイズ、帯域幅などのホームページごとの情報を表示。

製品仕様および動作環境

NetWatcher ネットワーク測定・監視システム	
システム構成	マネジメントソフトウェア(NB13001001)、センサー装置(LMP100A)、全二重タップオプション(LPH-CT01)
主な機能	トラフィック監視機能、レスポンス監視機能、サーバ監視機能、イベント監視機能、ポリシー・コンソール機能、モニタ・コンソール機能、レポート・コンソール機能、データベース保存機能、運用支援機能
NetWatcher マネジメントソフトウェア端末仕様	
ハードウェア	PC/AT互換機(CPU: Pentium 相当800MHz以上、メモリ: 256MB以上*)
ハードディスク	ソフトウェア容量: 16MB以上、データベース容量: 最小2.5GB(4GB以上を推奨)**
LAN	10/100BASE-TX、TCP/IPサービスが動作していること
ディスプレイ解像度	1024×768ピクセル以上、65536色以上
OS	Windows2000 Professional/2000 Server/2000 Advanced Server(すべてService Pack2以上) Windows XP Professional
アカウント	Administrator権限
NetWatcher センサ装置仕様	
LANインターフェース	10/100BASE-TX×3(パケットキャプチャ用:2/管理用:1)**
シリアルインターフェース	RS-232C(D-Sub9ピン)×2(UPS接続用/保守用)**
表示	LCD部(8桁×2行)、LED部(Power、ALARM)
RAS	ファン異常、電源異常などにより強制シャットダウン
外形寸法(W.D.H)	195×560×38mm
質量	4.3kg
消費電力	4.3W以下

*1 管理対象のセンサー装置が1台の場合。複数のセンサー装置を管理する場合は、1台につき128MBのメモリが必要。
*2 センサー装置の台数やポリシー情報の設定内容によってデータベース容量は異なります。
*3 全二重タップオプションを利用することで、パケット長256Byteにおける100Mbps全二重通信のパケットキャプチャが可能。
*4 対応UPS: GP5-SUP103/GP5-SUP107/GP5-SUP108/GP5-R1U P1A/GP5-R1U P4/GP5-R1U P5、UPS接続ケーブル GP5S-613

システム構成例

